

※第5回海老名市部活動検討委員会資料

活動日数と活動時間について

H29.10.27 事務局

10月20日、専門部（部活動の種目ごとの部会）ごとに話し合った結果を代表が持ち寄り、会議を行いました。

それに対しての回答（案）について、ご意見を伺います。

○専門部からの意見
別紙のとおり

○回答（案）
別紙のとおり

海老名市中体連運営委員会資料

部活動の活動日数と活動時間に関する専門部としての意見

平成 29 年 10 月 20 日

1、規定としての提案（①～③）について

- ① 週 1 日の休養日を設定する。
- ② 始業前の朝の活動は、週 4 日以内とする。
- ③ 夏季休業中は、3 日以上連続休養日を設定する。

体操・バレーボール・ソフトボール・剣道・ラグビー部・軟式野球・卓球・ソフトテニス
吹奏楽部・合唱部

・夏季大会（市→県央→県大会）は例外として欲しいが、それ以外は可能（問題なし）です。

バスケットボール・サッカー・

- ① 冬の 4：30 下校では放課後の練習がほとんどできない。また、放課後に顧問が練習を見られないので、11 月～2 月は朝練を 5 日間実施はできないか。
- ② ミーティングは休養日にしてもよいか？
- ③ 学年によって、日程を変えた場合はそれぞれの休養日にとらえてよいか？（サッカー）

バドミントン

・体育館割の関係で朝練と午後練習を交互に行っている。休養日については、その日すべてなしではなく、翌日とのセットで考えてはいけないか。

2、努力規定としての提案（④⑤）について

- ④ 土日の活動については、両日活動する場合でも、土日のどちらかは半日以上休養時間を設定する。
- ⑤ 長期休業中の活動については、終日活動の連続は 2 日までとする。

体操・ソフトボール・卓球・バドミントン・バスケットボール

- ・夏季大会（市→県央→県大会）は例外として欲しいが、それ以外は可能（問題なし）です。
- ・大会（招待試合等の参加・運営）での 2～3 日間連続の出場は例外としてほしい。
（バレー・バスケ）

バレーボール、剣道

- 4 学校での体育館が割り当てられないので、遠征にでなければならない。両日、一日の練習試合等である場合、試合間に休憩が含まれるため実質活動している時間は制限されている。

サッカー・軟式野球

- ・④⑤… 1 日 2 試合を 2 日連続（終日）で実施する場合があります。
部員の出場機会確保を考慮することと、自校グラウンドが狭いため、遠征に出て試合をするしかない
- ・④⑤について・・・天候の関係で土日連続で試合となり必ずしも片方を半日というようには、現実できない状況です。

ソフトテニス

- ④日曜日に大会の場合は土曜日にある程度の練習時間が必要となり、そのような部分での難しさが懸念すべき点である。
- ⑤終日活動の定義について話題に上がった。(何時間以上の活動で終日活動になるのか)。
たとえば10時～15時などは終日活動にあたるのか、など。

吹奏楽部

- ④ 大会及び、市や地域、学校行事等の本番がある場合不可能です。
- ⑤ 夏季休業中に大会があり県央大会から県大会の前の時期は非常に厳しいです。
この時期は、大会の練習と、学校行事の練習と、市中総文の練習が重なる時期である。
吹奏楽の練習には時間がかかることを知っていただきたいです。例えば、音楽室では狭くて練習に限界があります。体育館を借りて練習する場合、楽器の準備と片付けだけで2時間以上掛ります。半日では練習時間が実質1時間程度になり活動できません。

合唱部

- 4 今のところ問題ないが、今後入るイベントによっては、ひっかかるものもあるかもしれない。
- 5 春季、冬季は問題なし。夏季は今までのことを考えると、基本問題ないが、来年度以降のコンクール日程による部分もあるので、規定にゆりみ、例外を持たせてほしい。

ラグビー部

土日の活動については、問題なく休養時間を設けられるが、長期休業中については、合宿等の活動もあるため、2日以上連続した終日活動を行うことがある。しかし、すべての練習を強度の高いメニューで行うわけではなく、また、高原であるため気候も涼しく、熱中症などによる怪我は出ていない。

3、活動日数と活動時間の管理について

校長は、活動状況を顧問が作成する月ごとの活動計画書により管理する。

体操・バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・ソフトテニス・卓球・バドミントン・吹奏楽部・合唱部・ラグビー部・サッカー

特になし

軟式野球・剣道

活動計画書を提出しているが、その予定表で変えることはできないのでしょうか？

4、その他（部活動全般について、ご意見があればお書きください）

体操

休養は絶対に必要です。それぞれ部活動の特性があると思うので、それを踏まえた上で生徒の健康安全に配慮した活動ができればよいと思います。

バレーボール

複数顧問制の徹底をお願いします。一人では、抱えきれない状況が多々起こり、安全面において心配です。

バスケットボール

- ・顧問の多忙改善には、顧問を増やす方向で考えてほしい。

ソフトテニス

活動日数や時間については、多くても少なくとも保護者からご意見をいただくことがあり、現状から脱却するためには、決まり事として保護者にも知れ渡っていないと理解していただくのが難しいと思う。その反面、競技によっては天候や場所で活動が制限される場合や、大会そのものが多いとそこに向けて練習をしなければいけない期間も増えていくため、部活をせざるを得ない状況もあり、ある程度幅をもった規定であってほしいとも思う。

また、一人顧問は体力面で厳しい。大会の際に出場選手のみ活動し、そのほかの部員が休みになってしまうのがもったいないし、双方の活動を大事にしようとするとう顧問が延々と休めない。

顧問の数を増やしてほしい。全員顧問制とか、少しずつでも負担を割ることができたらと思う。

バドミントン 顧問に過度に期待されるとつらいです

吹奏楽部

大人数の部員を抱え、10種類以上ある楽器を指導して生徒指導も行うことは本当に大変です。顧問間での交流を含め様々な知恵を振り絞って活動をさせています。

基本は、努力規定に則って行きたいが、吹奏楽練習の特性を考えると顧問としては、活動がとても難しくなってしまう。併せて、運動部と違う点も考慮していただきたいです。

また、市主催の行事や、地域の行事（夏には大会前にサマースクールでの演奏も引き受けています）学校行事（体育祭の入場行進、入学式、卒業式、離退任式、PTA バザー等学校行事での演奏）などもあります。生徒には経験をさせたいので前向きに取り組ませていただいています。それ用の練習時間は必要になります。さらに、地域の活動に参加することで活動資金を回している状況も鑑みると、活動の縮小は顧問にとって危機的状況と言えます。

3番にある校長が計画表を見て管理するということでしたら、各校それぞれ違う状況の中行う部活動なので、その状況に応じて管理職からの適切な指導助言をいただき、休養を設定するのではいけないのでしょうか。